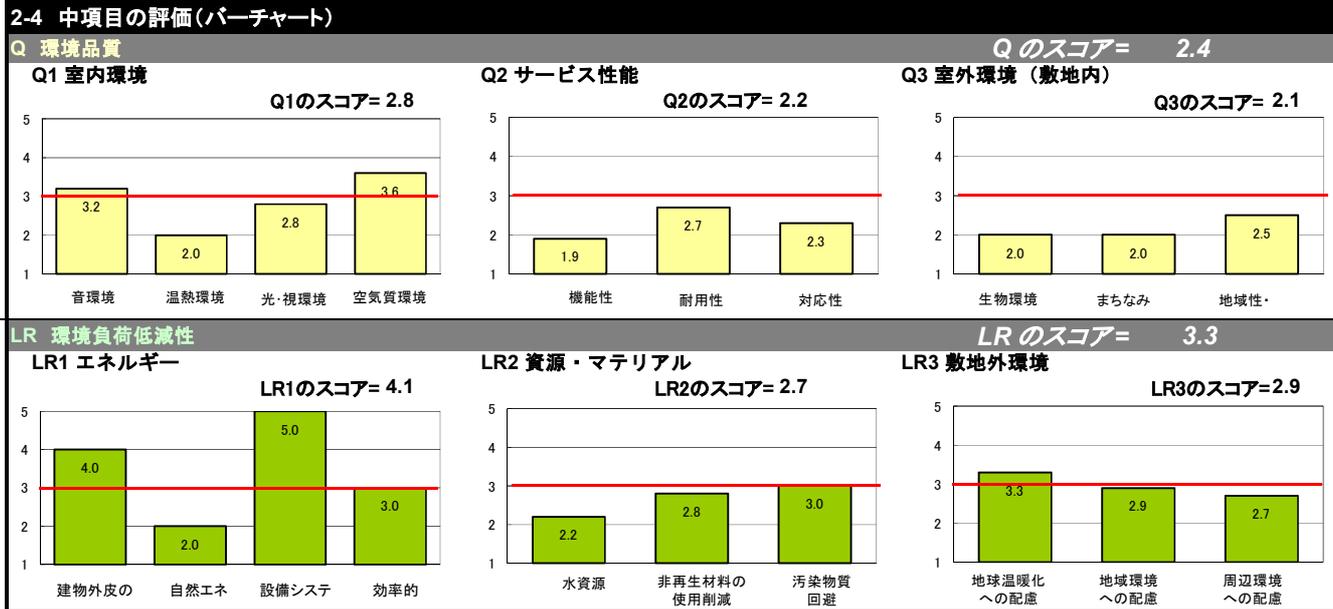
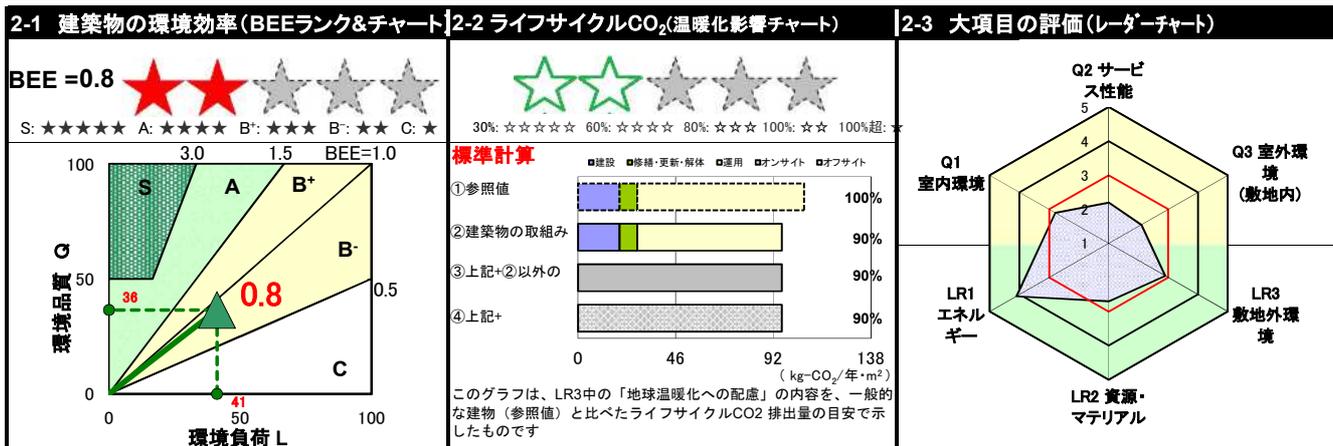


川崎市建築物環境配慮制度受付番号 23005

建築物名称	TRADIS登戸
建築主	塩田建設株式会社 代表取締役 福地 孝夫
建築物の所在地	川崎市多摩区登戸新町108番地
設計者氏名、建築士事務所名	有賀 彰 (株)ARG 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	2,073.24㎡
用途	共同住宅
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上5階
工事完了年月	令和6年3月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	TRADIS登戸	階数	地上5F
建設地	神奈川県川崎市多摩区登戸新町108番地	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年3月 竣工	評価の実施日	2023年4月21日
敷地面積	897㎡	作成者	有賀 彰
建築面積	583㎡	確認日	2023年4月21日
延床面積	2,073㎡	確認者	有賀 彰

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.6
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
2 まちなみ・景観への配慮			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上	中・高木、ピロティ等の水平投影面積率を30%以上とした	1.9/4.3	2.2
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.2
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.2 外皮性能	断熱等性能等級4相当を取得		
3 3.1 3.1.3 昼光利用設備		1.8/2.4	3.9
3.2 3.2.1 昼光制御	庇、カーテンレール		
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上	中・高木、ピロティ等の水平投影面積率を30%以上とした	1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制			
2 自然エネルギーの利用		4.1/5.0	4.1
3 設備システムの高効率化	BEI=0.81		
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護			
2 非再生性資源の使用量削減	GL工法の採用	2.5/4.7	2.7
3 3.2 フロン・ハロンの回避	ODP=0.01未満、GWP=50未満		
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	2.8
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	0.3/0.5	2.9
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護			
2 非再生性資源の使用量削減	GL工法の採用	2.1/4.0	2.7
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制		0.2/0.4	3.0
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.1
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
3 3.2 敷地内温熱環境の向上	中・高木、ピロティ等の水平投影面積率を30%以上とした	1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	断熱等性能等級4相当を取得		
2 自然エネルギーの利用		4.1/5.0	4.1
3 設備システムの高効率化	BEI=0.81		
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.0**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数		0.1/0.1	3.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
2 2.2 既存建築躯体等の継続利用		0.7/1.2	3.0
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制			
2 自然エネルギーの利用		4.1/5.0	4.1
3 設備システムの高効率化	BEI=0.81		
4 効率的運用			

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		実施設計段階				重点項目					環境配慮設計の概要記入欄		評価点		重み係数		全体		
配慮項目	重点項目	G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体								
Q 建築物の環境品質																			2.4
Q1 室内環境												0.40		-					2.8
1 音環境											-	0.15	3.2	1.00					3.2
1.1 室内騒音レベル											-	-	3.0	0.50					
1.2 遮音											-	-	3.4	0.50					
1 開口部遮音性能											-	-	5.0	0.30					
2 界壁遮音性能											3.0	-	3.0	0.30					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)											1.0	-	1.0	0.20					
4 界床遮音性能(重量衝撃源)											3.0	-	4.0	0.20					
1.3 吸音											3.0	-	3.0	-					
2 温熱環境											1.0	0.35	2.1	1.00					2.0
2.1 室温制御											-	-	3.3	0.50					
1 室温											-	-	3.0	0.63					
2 外皮性能											-	-	4.0	0.38					
3 ゾーン別制御性											3.0	-	-	-					
2.2 湿度制御											1.0	0.40	1.0	0.20					
2.3 空調方式											1.0	0.60	1.0	0.30					
3 光・視環境											-	0.25	2.8	1.00					2.8
3.1 昼光利用											-	-	4.0	0.30					
1 昼光率											-	-	5.0	0.50					
2 方位別開口											-	-	3.0	0.30					
3 昼光利用設備											-	-	3.0	0.20					
3.2 グレア対策											-	-	4.0	0.30					
1 昼光制御											-	-	4.0	1.00					
3.3 照度											-	-	1.0	0.15					
3.4 照明制御											-	-	1.0	0.25					
4 空気質環境											4.0	0.25	3.6	1.00					3.6
4.1 発生源対策											4.0	1.00	4.0	0.63					
1 化学汚染物質											4.0	1.00	4.0	1.00					
4.2 換気											-	-	3.0	0.38					
1 換気量											-	-	3.0	0.33					
2 自然換気性能											3.0	-	3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮											-	-	3.0	0.33					
4.3 運用管理											-	-	-	-					
1 CO ₂ の監視											3.0	-	-	-					
2 喫煙の制御											3.0	-	-	-					
Q2 サービス性能											-	0.30	-	-					2.2
1 機能性											1.4	0.40	2.0	1.00					1.9
1.1 機能性・使いやすさ											1.0	0.40	2.0	0.60					
1 広さ・収納性											3.0	-	3.0	-					
2 高度情報通信設備対応											3.0	-	2.0	1.00					
3 バリアフリー計画											1.0	1.00	-	-					
1.2 心理性・快適性											1.0	0.30	2.0	0.40					
1 広さ感・景観											3.0	-	3.0	0.50					
2 リフレッシュスペース											3.0	-	-	-					
3 内装計画											1.0	1.00	1.0	0.50					
1.3 維持管理											2.5	0.30	-	-					
1 維持管理に配慮した設計											3.0	0.50	-	-					
2 維持管理用機能の確保											2.0	0.50	-	-					
2 耐用性・信頼性											2.7	0.30	-	-					2.7
2.1 耐震・免震・制震・制振											3.0	0.50	-	-					
1 耐震性(建物のこわれにくさ)											3.0	0.80	-	-					
2 免震・制震・制振性能											3.0	0.20	-	-					
2.2 部品・部材の耐用年数											2.9	0.30	-	-					
1 躯体材料の耐用年数											3.0	0.20	-	-					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔											2.0	0.20	-	-					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔											2.0	0.10	-	-					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔											3.0	0.10	-	-					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔											5.0	0.20	-	-					
6 主要設備機器の更新必要間隔											2.0	0.20	-	-					
2.4 信頼性											1.8	0.20	-	-					
1 空調・換気設備											1.0	0.20	-	-					
2 給排水・衛生設備											2.0	0.20	-	-					
3 電気設備											3.0	0.20	-	-					
4 機械・配管支持方法											1.0	0.20	-	-					
5 通信・情報設備											2.0	0.20	-	-					

3	対応性・更新性								2.8	0.30	2.3	1.00	2.3
	3.1 空間のゆとり								-	-	1.6	-	0.50
	1 階高のゆとり								5.0	-	2.0	-	0.60
	2 空間の形状・自由さ								5.0	-	1.0	-	0.40
	3.2 荷重のゆとり								5.0	-	3.0	-	0.50
	3.3 設備の更新性								2.8	1.00	-	-	-
	1 空調配管の更新性								3.0	0.20	-	-	-
	2 給排水管の更新性								2.0	0.20	-	-	-
	3 電気配線の更新性								3.0	0.10	-	-	-
	4 通信配線の更新性								3.0	0.10	-	-	-
	5 設備機器の更新性								3.0	0.20	-	-	-
	6 バックアップスペースの確保								3.0	0.20	-	-	-
Q3	室外環境(敷地内)								-	0.30	-	-	2.1
1	生物環境の保全と創出	G	W			H	-		2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	G					-		2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮						-		2.5	0.30	-	-	2.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上						-		2.0	0.50	-	-	-
	3.2 敷地内温熱環境の向上	G	W			H	-		3.0	0.50	-	-	-
LR	建築物の環境負荷低減性								-	-	-	-	3.3
LR1	エネルギー								-	0.40	-	-	4.1
1	建物外皮の熱負荷抑制		W			H	-	断熱等性能等級4相当を取得	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用		W			H	-		2.0	0.10	-	-	2.0
3	設備システムの高効率化		W			H	-		5.0	0.50	-	-	5.0
4	効率的運用								3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価								-	-	-	-	-
	4.1 モニタリング		W			H	-		3.0	-	-	-	-
	4.2 運用管理体制		W			H	-		3.0	-	-	-	-
	集合住宅の評価								3.0	1.00	-	-	-
	4.1 モニタリング		W			H	-		3.0	0.50	-	-	-
	4.2 運用管理体制		W			H	-		3.0	0.50	-	-	-
LR2	資源・マテリアル								-	0.30	-	-	2.7
1	水資源保護		W			R			2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水								1.0	0.40	-	-	-
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60	-	-	-
	1 雨水利用システム導入の有無								3.0	1.00	-	-	-
	2 雑排水等利用システム導入の有無								3.0	-	-	-	-
2	非再生性資源の使用量削減								2.8	0.60	-	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減		W			R			2.0	0.10	-	-	-
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		W			R			3.0	0.20	-	-	-
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		W			R			3.0	0.20	-	-	-
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		W			R			1.0	0.20	-	-	-
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		W			R			2.0	0.10	-	-	-
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		W			R		内装壁でLGS+仕上げ材を採用、GL工法を採用	5.0	0.20	-	-	-
3	汚染物質含有材料の使用回避								3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用								3.0	0.30	-	-	-
	3.2 フロン・ハロンの回避								3.0	0.70	-	-	-
	1 消火剤		W						-	-	-	-	-
	2 発泡剤(断熱材等)		W					ODP=0.01未満、GWP=50未満	4.0	0.50	-	-	-
	3 冷媒		W						2.0	0.50	-	-	-
LR3	敷地外環境								-	0.30	-	-	2.9
1	地球温暖化への配慮		W						3.3	0.33	-	-	3.3
2	地域環境への配慮								2.9	0.33	-	-	2.9
	2.1 大気汚染防止								3.0	0.25	-	-	-
	2.2 温熱環境悪化の改善	G	W			H			3.0	0.50	-	-	-
	2.3 地域インフラへの負荷抑制								2.7	0.25	-	-	-
	1 雨水排水負荷低減					R			3.0	0.25	-	-	-
	2 汚水処理負荷抑制					R			3.0	0.25	-	-	-
	3 交通負荷抑制					R			2.0	0.25	-	-	-
	4 廃棄物処理負荷抑制					R			3.0	0.25	-	-	-
3	周辺環境への配慮								2.7	0.33	-	-	2.7
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	-	-
	1 騒音								3.0	1.00	-	-	-
	2 振動								-	-	-	-	-
	3 悪臭								-	-	-	-	-
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制								3.0	0.40	-	-	-
	1 風害の抑制								3.0	0.70	-	-	-
	2 砂塵の抑制								3.0	-	-	-	-
	3 日照障害の抑制								3.0	0.30	-	-	-
	3.3 光害の抑制								1.6	0.20	-	-	-
	1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策								1.0	0.70	-	-	-
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策								3.0	0.30	-	-	-

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	4.0		-	-	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	2.0		-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0		-	-	1.0	1.0	-	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0		-	-	-	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	10.0		-	-	3.0	3.0	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0		1.0	-	-	-	3.0	-	-	-	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	1.0		1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	4.0		2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -	
U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -	
住戸部分システムU値 - 外皮UA値 -	η AC - η AH -

3.1.1 昼光率

昼光率 0.0%

4.2.2 自然換気性能

自然換気有効開口率 0.0%

Q2 サービス性能

1.1.1.1 広さ・収納性

執務スペース .0㎡ /人 病床 .0㎡ /床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 0.0 VA/㎡

1.2.1 広さ感・景観

天井高 0 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 25 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔 20 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 0 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 0.0%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 - N/m2

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 175% 建物緑化指数 7%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 35% 水平投影面積率 64% 地表面対策面積率 91% 舗装面積率 33%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m - 日射等性能等級 等級4 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利 0 MJ/年㎡

採光を満たす教室数	80.0%	採光を満たす住戸数	80.0%
通風を満たす教室数	80.0%	通風を満たす住戸数	80.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI_m 非住宅 - 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品E - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 0.0%

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(C) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(C) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(C) 地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 149% | 棟間隔指標Rw 0.10

地表面対策面積率 182.0%	屋根面対策面積率 0.0%	外壁面対策面積率 0.0%
見付面積Sb m ² 越風向と直交する最大敷地幅Ws 0 m	基準高さHb 0 m	
緑地 m ² 水面 m ² 保水性対策面 m ²	高反射対策面 m ²	再帰性反射対策面 m ²